

令和7年度 第2回 鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会 会議録 (概要)

日 時 令和7年10月30日(木) 午後2時00分から午後3時50分

場 所 市役所地下1階 団体研修室

出席者 三浦健会長、菊地謙副会長、渡辺浩隆委員、石川由佳委員、都筑恵美子委員、
嶋野隆文委員、鈴木和子委員、山崎幸子委員、櫻澤美智子委員、飯高優子委員、
瀧口博史委員、宿利拳悟委員、関幸子委員、森井真理委員

関係者 【ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富】 碓水裕也、倉持由美子
【ハレクラ鎌ケ谷】 伊崎久美

【秋桜ヴィラージュ鎌ケ谷】 高橋邦明、岡田雄一郎
馬場武士(地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム)

欠席者 向井智之委員、西原数馬委員、渡邊輝江委員、山崎馨子委員、
今井崇徳委員(鎌ケ谷市社会福祉課長)、舟波早苗委員(鎌ケ谷市健康増進課主幹)

事務局 【障がい福祉課】 遠藤善治課長、高橋奈帆子庶務係長
【鎌ケ谷市基幹相談支援センターえがお】 渡辺恵美子所長、坂巻美佳、恩田信幸、
岩室優子

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・式次第
- ・令和7年度鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会委員名簿
- ・自立支援協議会の組織体制
- ・「地域連携部会」部会員一覧
- ・鎌ケ谷市障がい者自立支援協議会 地域連携部会 チーム参加者一覧
- ・資料1 日中サービス支援型グループホームにおける協議会の報告・評価について
 - (1) ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富
 - (2) ハレクラ鎌ケ谷
 - (3) 秋桜ヴィラージュ鎌ケ谷
 - (4) 栗野地区グループホーム(新規)
- ・資料2 地域連携部会テーマ別チームの検討状況の報告及び諮問事項について
- ・チラシ 五本松小学校区防災訓練

<本日の傍聴人および会議の出席状況について>

事務局より、出席者数(14名)が会議開催の定足数である「委員の過半数の出席」を満たしていることおよび傍聴者が0名であることを報告した。

日中サービス支援型グループホームにおける協議会の報告・評価について

事務局より資料1を基に、グループホームのサービス内容、グループホームの類型、地域生活支援の中核的な役割を担う日中サービス支援型グループホームの役割を説明した。評価実施の流れの変更点として、鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）での評価前に、市内の相談支援事業所連絡会に対象のグループホームが参加し、運営状況の報告をした上で質問及び意見収集を行うことが追加されたことを説明した。質疑応答をまとめたものが「令和7年10月2日（木）相談支援事業所連絡会での質問等」として配布資料に添付されており、評価の参考にするよう説明した。

（1）ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富から資料1「報告・評価シート」について説明した。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いします。

委員

利用者10名のうち7名が外部の日中活動サービスに通所しているが、そういう方たちがソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富を利用する理由を教えてください。

ソーシャルインクルーホーム鎌ケ谷東初富

土・日曜日の支援、服薬管理（朝・昼・晩）などを提供しているため、自身で金銭管理や服薬管理をすることが困難な方たちが利用している。

（2）ハレクラ鎌ケ谷より資料1「報告・評価シート」について説明した。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いします。

委員

短期入所について、18歳未満は利用できないとなっているが、受け入れないのは本社の方針か。是非、受け入れるようにしてほしい。

ハレクラ鎌ケ谷

本社にも報告し前向きに検討する。

委員

利用者の障害支援区分が比較的軽度であるにも関わらず、日中活動へ通っていないのはなぜなのか。

ハレクラ鎌ケ谷

精神障害の方がほとんどであり、本人の希望を尊重し現状では外出が難しい状況である。

委員

計画相談の方には相談しているのか。

ハレクラ鎌ケ谷

全員、計画相談の方に相談してこのような現状になっている。

（3）秋桜ヴィラージュ鎌ケ谷より資料1「報告・評価シート」についておよび（4）栗野地区グループホーム（新規）について説明した。併せて株式会社マザーライクウィズの会社説明を行った。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いします。

委員

開所する際に、地域への情報開示は行っているか。また、地域連携推進会議の対象者は誰なのか教えてほしい。

秋桜ヴィラージュ鎌ヶ谷

開所予定が固まった段階で、自治会長や近隣住民へ挨拶をしている。近隣住民から要望があれば説明会を実施している。地域連携推進会議については、松戸市で民生委員や相談支援事業所をしている方、マンション経営者、利用者の家族、利用者、市役所の障がい福祉課及び基幹相談支援センターえがおに出席依頼をしている。

委員

新設する栗野のグループホームについても開示しているか。

秋桜ヴィラージュ鎌ヶ谷

再来年に設立予定のためまだしていない。地域の方には開所前に必ず挨拶する。

委員

出来上がる前に障がい福祉課は何もしないのか。過去に利用者が道路に出て座っている場面に遭遇したことがある。「地域に開かれた透明性の高い施設」を謳うのであれば、開所前に説明することで地域住民の見守りにもつながると思う。

事務局

開所前に市が主導して情報提供等はしていない、開所後に事業者が実施する地域向け説明会に市職員が参加するかたちである。

委員

社会福祉法人がグループホームを開所する場合には、事前説明会を実施する義務があるが、その他は義務ではない。千葉県では来年1月1日より、事業者は開所4か月前から市町村に相談し、その内容を県へ報告することが必要になる。

委員

ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富、ハレクラ鎌ヶ谷の地域連携推進会議の対象者を教えてほしい。

ハレクラ鎌ヶ谷

旧青空の会のグループホームを引き継いでいるので近隣住民の理解は得ている。地域連携推進会議についてはまだ予定が立っていないので、これから検討する。

ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富

地域連携推進会議の参加者は、利用者、利用者の家族、地域住民、市役所の障がい福祉課、計画相談の相談員である。

委員

グループホームは、障がい者が健常者と同様の権利を持ち、地域でその人らしく生きていくことを保障するためのものである。健常者が引っ越してきても地域住民への挨拶廻りは義務ではないので、グループホームで暮らす障がい者にも普通に暮らしていく権利を守っていききたい。ただし、利用者が10人、20人となるとグループホームというより入所施設に近いので、適切な支援環境（間取りなど）が確保されているか慎重な確認が必要である。

事務局より協議会では、年1回以上の評価を行う必要があるため11月14日（金）までに「意見提出票」の提出をお願いした。

地域連携部会テーマ別チームの検討状況の報告および諮問事項について

事務局より資料2「地域連携部会テーマ別チームの検討状況の報告および諮問事項について」を基に（1）障がい者の働くを支えるチーム、（3）障がい者のつながりを支えるチーム、（4）障がい分野の情報を発信・啓発するチーム、（5）精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム、（6）医療的ケア児支援チームの報告を行った。

予算からの支出を検討している（2）地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチームについては、チームリーダーより直接説明する。

（2）地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム

昨年に続きガイドヘルパー研修を実施したいため実施費用を協議会の予算から支出することについて検討をお願いしたい。受講生が担い手となり移動支援事業所とつながってほしいため、鎌ヶ谷市及び近隣市に請求実績のある移動支援事業所に対しアンケート調査を行い、受講日に事業所の求人状況が分かるようにする。

事務局より協議事項および諮問事項の説明を行った。

会長

ここまでの説明について質疑があればお願いしたい。

→特になし

会長

（2）地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチームの千葉県移動介護従事者養成研修の実施と併せて協議会の予算から講師謝礼金を支出することについて採決を取る。承認する委員は挙手をお願いする。

→挙手多数により承認

会長

各テーマ別チームが、現在進行して検討している内容及び課題に継続して取り組むことでよろしいか。承認する委員は挙手をお願いする。

→挙手多数により承認

その他

事務局より「チラシ 五本松小学校区防災訓練」について説明した。

会長

他になければ以上で協議会を終了する。

閉会

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和7年11月13日

氏 名 嶋野 隆文

氏 名 渡辺 浩隆
